

7 【歴史を刻み賑わう水辺】

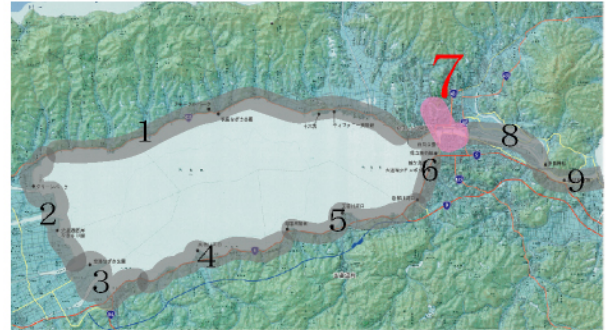
(穴道湖大橋～くにびき大橋)

キーワード：

{自然：夕日、朝日、朝靄}

{人：水の都、古い街並み}

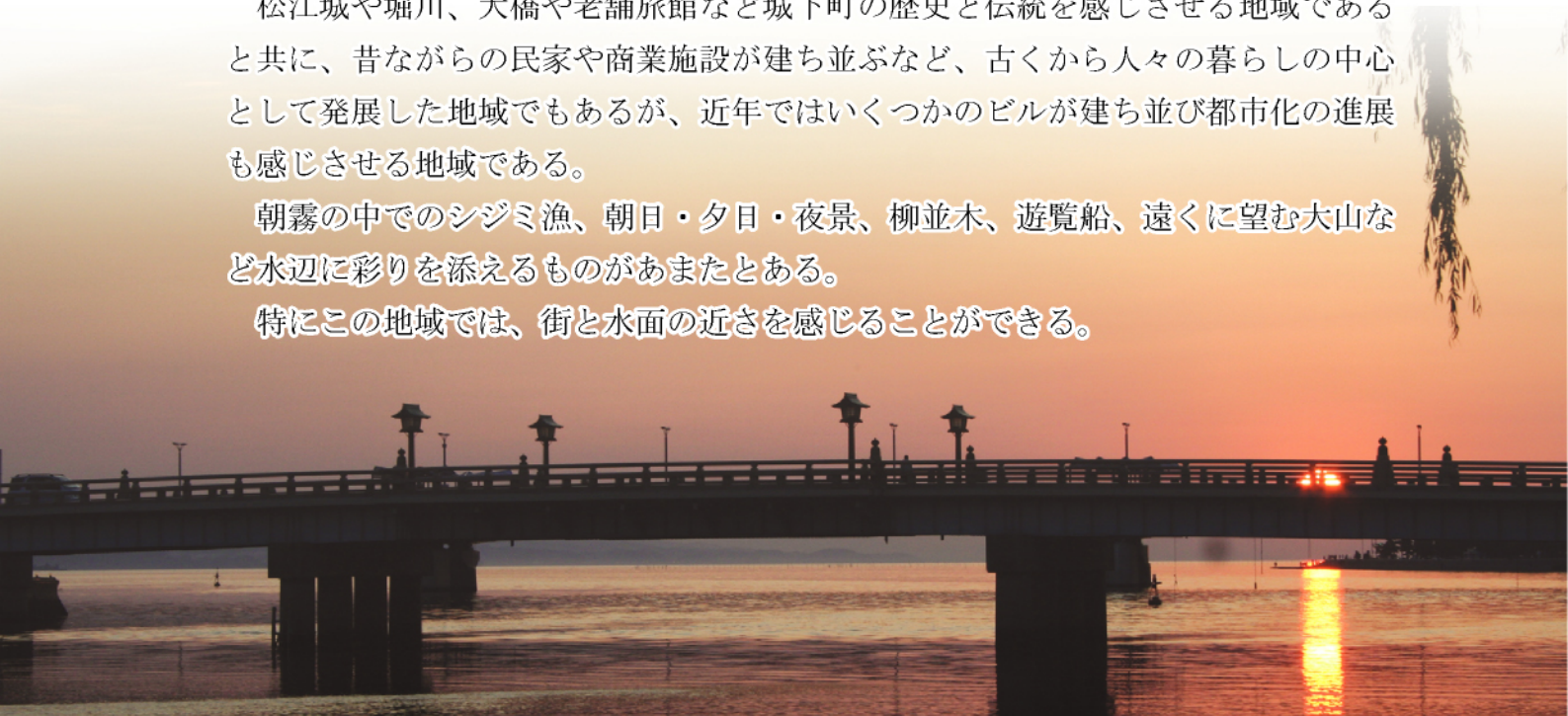
{感覚：賑わい、伝統}



松江城や堀川、大橋や老舗旅館など城下町の歴史と伝統を感じさせる地域であると共に、昔ながらの民家や商業施設が建ち並ぶなど、古くから人々の暮らしの中心として発展した地域でもあるが、近年ではいくつかのビルが建ち並び都市化の進展も感じさせる地域である。

朝靄の中でのシジミ漁、朝日・夕日・夜景、柳並木、遊覧船、遠くに望む大山など水辺に彩りを添えるものがあまたとある。

特にこの地域では、街と水面の近さを感じることができる。



8 【水郷の原風景を伝える水辺】

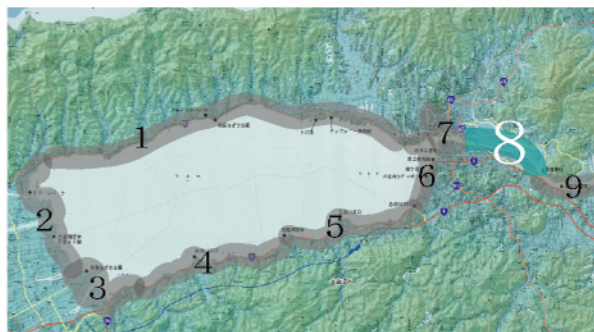
(くにびき大橋～多賀神社付近)

キーワード：

{自然：湿地、中州、ヨシ原}

{人：水郷、水田}

{感覚：懐かしさ、落ち着き}



大規模な建造物も少なく、中の島や、中州の水田・緑地・水路などが織りなす大橋川独特の豊かさを感じさせる地域である。

水際部を中心に、ヨシなどの湿性植物が分布し水鳥等の生息地となっていると共に、沿川ではハゼなど釣りスポットとして親しまれている。鏡のように静かな水面をボートが這うように進む背後には高山、和久羅山から延びる稜線が広がっている。



9 【いにしえの流れを慈しむ水辺】

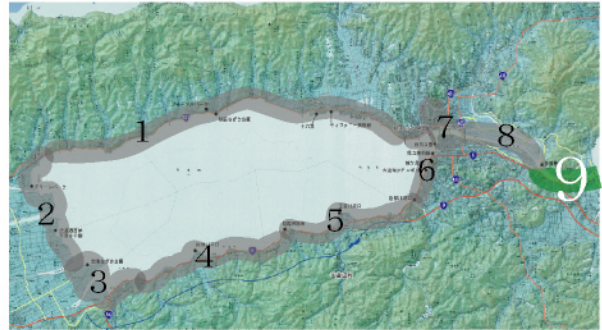
(多賀神社付近～大橋川河口)

キーワード：

{自然：塩楯島、多賀神社の森}

{人：歴史、風土記、渡し船}

{感覚：悠久}



出雲風土記にも記載の残る多賀神社や、塩楯島の手間天神社、長い間地域の文化的財産として受け継がれてきた「矢田の渡し」と周辺の赤瓦集落は、川とともに歩んできた歴史・伝統を感じさせる。下流にまとまった集落が存在する辺りは、戦国時代より明治にかけて主に帆船の風待港として利用され賑わいをみせていた地域である。

河口付近の川沿いでは、水際部を中心にヨシ等の湿性植生が分布し、背後の水田などが水鳥等の採食場・休息場となり豊かな自然もみられる。



宍道湖・大橋川の水辺のあり方（案）

1 変化に富んだ景勝をつなぐ水辺
【松江しんじ湖温泉入り口～鹿園寺隣付近】



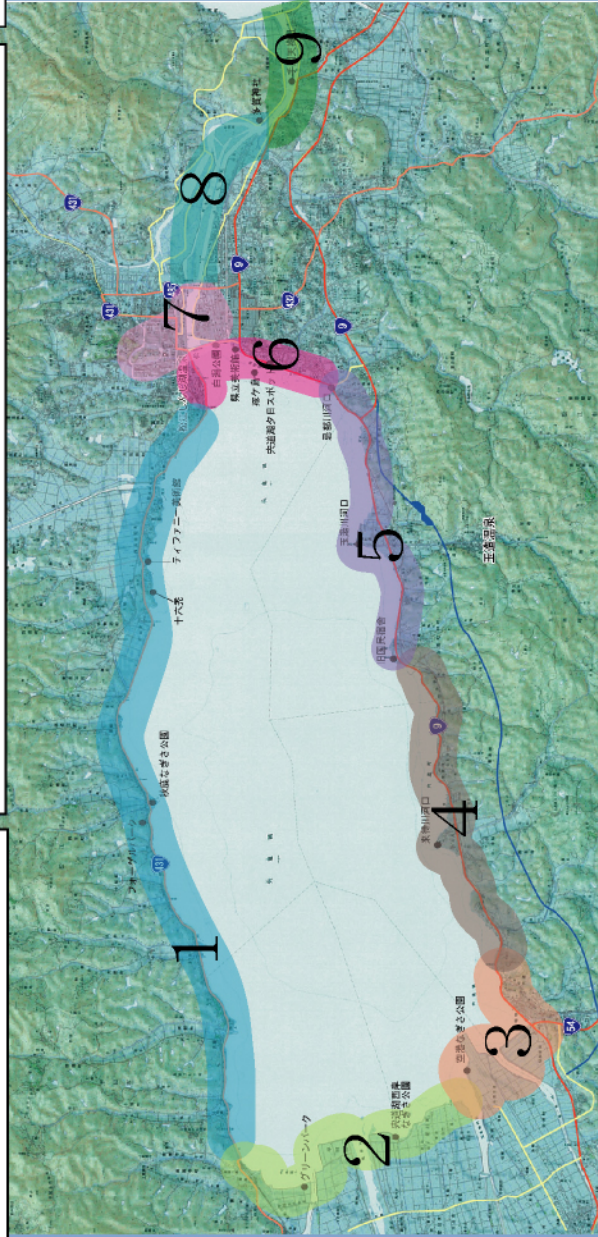
7 歴史を刻み賑わう水辺
【宍道湖大橋～くにびき大橋】



8 水都の原風景を伝える水辺
【くにびき大橋～多賀神社付近】



2 自然と人のふれあいを育む水辺
【鹿園寺隣付近～五右衛門川】



9 いにしへの流れを慈しむ水辺
【多賀神社付近～大橋川河口】



6 移ろう夕日を愛でる水辺
【忌部川河口～松江しんじ湖温泉】



4 自然の恵みと歴史を感じる水辺
【宍道中学校付近～鳥ヶ崎付近】



5 湖畔の旅情を深める水辺
【鳥ヶ崎付近～忌部川河口】



3 湖面に人々を誘う水辺
【五右衛門川～宍道中学校付近】

